

やまなしの青少年

社団法人 青少年育成山梨県民会議

〒400-0811 甲府市川田町517番地 山梨県青少年センター内 電話:055-287-6415 FAX:055-237-5312

URL <http://www.eps1.comlink.ne.jp/~ikusei> Mail ikusei@eps1.comlink.ne.jp

平成24年度

「家庭の日」「青少年を育む日」ポスター展特選・優秀賞受賞作品



特選

山梨県青少年総合対策本部長賞(知事賞)

白根源小学校 5年 櫻本 星哉



優秀

山梨県教育長賞

春日居中学校 2年 西宮 玲奈



優秀

テレビ山梨社長賞

西中学校 3年 田中 美帆

目次

「家庭の日」「青少年を育む日」ポスター展特選・優秀作品紹介
.....1

- 会長就任にあたって
- ポスター展表彰
- 青少年・青少年育成功労者等の表彰
.....2
- 「少年の主張」県大会
- 街頭キャンペーン
- 非行・被害防止県大会
.....3

シリーズ
子ども・若者の
底力を信じて
青少年主体の地域活動を紹介
.....4・5

「少年の主張」
県大会最優秀作品
.....6

- 市町村民会議等紹介
- 県民会議、市町村民会議等連携合同会議
.....7
- 県民会議の活動概要
- ひとりでの悩みの、もうやめよう
- 賛助会員の皆さん
- 編集後記
.....8



優秀

山梨放送賞
北中学校 1年 君島 直幸



優秀

NHK甲府放送局長賞
白根源小学校 4年 櫻本 拓也



優秀

山梨日日新聞社賞
下吉田東小学校 2年 加々美 夢



優秀

社団法人青少年育成山梨県民会議会長賞
塩山南小学校 1年 石井 貴瑛



優秀

社団法人青少年育成山梨県民会議会長賞
国母小学校 3年 三枝 アルベルト



優秀

社団法人青少年育成山梨県民会議会長賞
吉田西小学校 3年 堀内 颯斗



優秀

社団法人青少年育成山梨県民会議会長賞
池田小学校 6年 本澤 舞

会長就任にあたって



社団法人青少年育成山梨県民会議
会長 山田 文夫

昨年5月に県民会議の会長を仰せつかりました山田でございます。微力ですが青少年の健全な育成の為力を尽くす所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。青少年が明るく健やかに育つことは、県民誰もの願いであります。

今いじめの問題や非行の低年齢化等青少年を取り巻く環境は必ずしも明るい状況とは言えません。

こうした状況を解決していくにはどうしたら良いのか。一朝一夕には解決策が見いだせないかも知れませんが、根気よく子ども大人が育成活動が続けることが大切と考えます。それには、家庭・学校・地域の連携がまず一番大事ではないでしょうか。家庭では家族間の会話が大事でしょうし、明るい潤いのある家庭づくりが大事でありましょう。

県民一人一人が青少年の健全育成の重要性を認識し、関心を持って頂くことが大切だと考えます。地域には青少年育成市町村民会議や子どもクラブ指導者協議会等様々な青少年の健全育成に関わる団体がありますが、県民の皆様こうした取り組みを理解して頂き、前向きに参加して頂くことが必要ではないかと思えます。

また、家庭・学校・地域が様々な問題を共有し、各種団体が連携して対応していくことが何よりも必要ではないかと考えています。こうした団体等の連携を進めていく上で県民会議の役割がとてとても大切であります。

日本人は本来「情」を大切にしてきました。青少年が、他人の立場や心情をおもんばかる「恕」の精神を持った人に成長していけるよう、社会が一体となって取り組むことが重要であり、その一翼を県民会議が担うべく、各種団体等と連携を取りながら、その責を果たして参りたいと考えております。

どうぞ一層のご理解ご協力をお願い申し上げ挨拶とさせていただきます。

「家庭の日」「青少年を育む日」ポスター 特選に白根源小学校 櫻本 星哉くん

毎月1日曜日は「家庭の日」、第3日曜日は「青少年を育む日」です。県民会議ではこの啓発活動の一環として、毎年、ポスター募集を行っています。

今年は、県下の小中高校生、一般から5,940点の応募があり、特選1点、優秀9点、佳作10点が選ばれました。表彰式は、10月12日に「市町村民会議との合同会議」の席で行われました。入賞作品は当県民会議で発行する平成25年のカレンダーに使用され、関係機関などに配布されました。



入賞者

賞	名前	提出市町村名
特選(山梨県青少年総合対策本部長賞(知事賞))	櫻本 星哉	南アルプス市
優秀(山梨県教育長賞)	西宮 玲奈	笛吹市
優秀(テレビ山梨社長賞)	田中美帆	甲府市
優秀(山梨放送賞)	君島 直幸	甲府市
優秀(NHK甲府放送局長賞)	櫻本 拓也	南アルプス市
優秀(山梨日日新聞社賞)	加々美 歩	富士吉田市
優秀(社団法人青少年育成山梨県民会議会長賞)	石井 貴瑛	甲州市
優秀()	三枝 アルベルト	甲府市
優秀()	堀内 颯斗	富士吉田市
優秀()	本澤 舞	甲府市
佳作(社団法人青少年育成山梨県民会議会長賞)	瀧口 萌	富士吉田市
佳作()	青柳 愛子	甲斐市
佳作()	山元 翔太	甲州市
佳作()	内藤 翔太	昭和町
佳作()	金丸 拓	南アルプス市
佳作()	河野 もな	甲府市
佳作()	高野 二千佳	甲府市
佳作()	長井 優	甲府市
佳作()	長田 莉奈	甲府市
佳作()	飯窪 慶徳	甲府市

平成24年度青少年・青少年育成功労者等の表彰

平成24年5月23日開催の総会の席に於いて、青少年・青少年育成功労者等の表彰が行われ、善行表彰等個人16名、育成団体6団体が表彰されました。



善行表彰(青少年)

氏名	住所	所属団体
保坂 健人	甲府市	甲府市青少年ジュニア リーダー

自主活動表彰(青少年団体)

団体名	住所	代表者名
国際ソロボチミスト 山梨スクラブ	甲府市	櫻田 佳祐

育成指導表彰(青少年指導者)

氏名	住所	所属団体
伊藤 征雄	甲斐市	ボーイスカウト 甲斐第1団
大芝 造	甲府市	国母地区青少年育成推進協議会
功刀 敏男	甲府市	貢川地区青少年育成推進協議会
高橋 幸一	笛吹市	石和地区青少年育成推進協議会
内藤 一好	南アルプス市	青少年育成白根地区民会議
林 加代子	南アルプス市	青少年育成芦安地区民会議

育成指導表彰(育成功労者)

氏名	住所	所属団体
奥平 正純	都留市	青少年育成都留市民会議
柏倉 義人	富士吉田市	富士吉田市青少年育成会連合会
櫻田 滋	南アルプス市	青少年育成樹形地区民会議
高尾 一男	西桂町	青少年育成西桂町民会議
土屋 壽雄	南アルプス市	青少年育成若草地区民会議
樋川 賢三	身延町	青少年育成年延町民会議
水上 義雄	山梨市	青少年育成山梨市民会議
山口 正文	上野原市	青少年育成上野原市民会議
山田 幸夫	山梨市	青少年育成山梨市民会議

育成指導表彰(青少年育成団体)

団体名	住所	代表者名
上野原地区更正保護女性会	上野原市	小俣 キヤ子
社団法人カールスカウト日本連盟 山梨県支部第4団	甲府市	団委員長 山本 千代子
都留市空手スポーツ少年団	都留市	代表指導者 佐藤 秀子
平林農業小学校	富士川町	校長 深澤 勝也
ボーイスカウト甲斐第1団	甲斐市	団委員長 伊藤 征雄

「少年の主張」山梨県大会開催 最優秀賞に三井智恵さん

平成24年度「少年の主張」山梨県大会が8月25日、県立青少年センターで開催され、県下22校の中学校から389点の応募があり、その中から原稿審査で選ばれた16人の中学生が素晴らしい意見を発表しました。最優秀賞に選ばれた三井さんは全国大会へ推薦されました。



平成24年度「少年の主張」山梨県大会審査結果

賞	題名	学校	名前
最優秀(山梨県教育長賞)	シエラレオネの仲間へ	山梨英和中学校(甲府市)	三井 智恵
優秀(テレビ山梨社長賞)	私の夢	泉中学校(北杜市)	長澤 溪
優秀(山梨日日新聞社賞)	「私らしさ」を求めて	竜王中学校(甲斐市)	矢崎 美里
優秀(NHK甲府放送局長賞)	美しき日本語	泉中学校(北杜市)	加藤 あずさ
優秀(山梨放送賞)	「当たり前」と言える幸せ	泉中学校(北杜市)	山田 理音
優秀(社団法人青少年育成山梨県民会議会長賞)	私たちが育ててくれる「友情関係」	韭崎西中学校(韭崎市)	飯塚 茉佑
優秀(//)	赤ちゃんポストについて	笛川中学校(山梨市)	石田 真弓
優秀(//)	社会的養護と知られてほしい事実	秋山中学校(上野原市)	岡野 歩
優秀(//)	地域と共に	北東中学校(甲府市)	沓間 美奈
優秀(//)	「認めること」「認められること」	笛川中学校(山梨市)	竹居 杏香
優秀(//)	つながる平和	塩山中学校(甲州市)	中村 南
優秀(//)	人と人との関わりの大切さ	駿台甲府中学校(甲府市)	萩原 実織
優秀(//)	守ろう!私たちの地域	笛川中学校(山梨市)	日原 里奈
優秀(//)	沖縄を知る、戦争を知る勇気	駿台甲府中学校(甲府市)	平本 真理子
優秀(//)	地域に学ぶ-「学びのバトン」	塩山中学校(甲州市)	廣瀬 詠頼
優秀(//)	「本気」「全力」「一生懸命」僕の生徒会活動	竜王中学校(甲斐市)	渡辺 林太郎

※優秀(社団法人青少年育成山梨県民会議会長賞)は50音順

「声かけ・あいさつ運動街頭キャンペーン」を展開

毎年、11月は国が主唱する「子ども・若者育成支援強調月間」に当たります。

これに呼応し、本県民会議におきましては、11月4日ヴァンフォーレの試合に合わせて、小瀬スポーツ公園で街頭キャンペーンを行いました。関係者など約25



人が、啓発ためののぼりを掲げ、併せて啓発物品を配布しながら、声かけ・あいさつ運動への理解を呼びかけました。



「青少年の非行・被害防止県民大会」開催

青少年育成山梨県民会議(会長 山田 文夫)と山梨県青少年総合対策本部(本部長 横内正明知事)は、青少年の非行・被害防止全国強調月間(7/1~7/31)の一環として、平成24年7月27日に甲府市総合市民会館にて「きびしさとやさしさで摘む非行の芽」をスローガンに「青少年の非行・被害防止県民大会」開催しました。大会では、青少年健全育成成功労者への表彰(知事表彰)、中高生による意見発表やロジカルキット代表の下田太一氏が「スマートフォンを青少年が利用する場合の危険性について」と題し講演を行いました。



山梨県青少年健全育成成功労者表彰受賞者(知事表彰)
種田 一夫 様 (社)青少年育成山梨県民会議顧問
村上 晃久 様
(上野原市スポーツ少年団指導者協議会副会長)
山崎 和雄 様
(青少年育成都留市民会議副会長)

ジュニアリーダーの活動

甲府市青少年育成カウンセラー
岡部 和子

今年度甲府市市民会議より委嘱された青少年ジュニアリーダーは、現在中学生39名・高校生239名・青年3名、計281名です。地域の中で自分を育て地域づくりに貢献する青少年活動として活躍しています。

ジュニアリーダーは、年間5回の研修会(①講演会②レクリエーション活動③ボランティア活動④各地区美化清掃活動⑤意見発表会)や各地区のイベントへ参加し、他校の生徒と交流し、地区の方々と協力して地域づくりに努めています。

①講演会(講師:宮島雅展市長)では、「己の欲せざるところは、人に施すことなかれ」と論語を引用し、「思いやりの心」の本質を、「知識が増えれば増えるほど逆に、自分の知らないことの多さに気付き、控えめになり、謙虚な心になれる」と「読書」の本質を諭され、「ヤクーバとライオン」の絵本からリーダーとしての資質について話されました。全員、真剣に耳を傾けており、リーダーとしての



高い意識が見られました。



②レクリエーション活動では、一人ひとりが「レクリエーション活動」の理論と実技を学ぶ中で、人との交流やお互いにコミュニケーションを図ることの必要性などを学び、多くの人との交流を深めることができました。



③ボランティア活動では、駐輪場の整理と清掃活動・東日本大震災募金活動・老人ホーム交流訪問・日赤心肺蘇生法講習や入門介護実習・手話研修の体験



活動を行い、有意義な研修となりました。

これらの活動を通しジュニアリーダーたちが地域に活躍し、貢献し、成長していくことを願っています。



子どもや若者が自主的に取り組む社会体験や自然活動などを紹介します。

シリーズ

育てよう青少年の主体的な活動

子ども・若者

—子どもと大人がいっしょになって—

北杜市教育委員会生涯学習課社会教育担当
川端 下正 往

北杜市では、青少年育成北杜市民会議と市内8地区に組織された地区民会議とが連携して、地域の特色を活かした青少年育成を目指し活動を行なっております。

今回は、この市民会議が主催している青少年野外体験事業「みんなで忍者」をご紹介します。

12月1日(日)晴れ渡った青空のもと北杜市高根町の道の駅みなみ清里で開催された「みんなで忍者」には、50名の市内小学生と大人スタッフ33名が参加しました。

この事業は、子どもと大人がいっしょになって活動することで、地域全体で子ども達と関わっていけるきっかけづくりになればと、午前中は各地域の青少年団体の役員さんやジュニアリーダーといった「大人」を対象としたワークショップ、午後は実際に子どもたちを集めての体験事業という二部構成で実施されています。



ワークショップでは、子どもとコミュニケーションを取る方法や、地域でも活用できる簡単なミニゲームの講習などを行ない、参加者はみな童心に帰ったように目を輝かせながら取り組んでいました。

午後は、いよいよ実際に子どもたちを相手にした忍者ごっこです。子どもも大人もみんな色とりどりの風呂敷で頭と口元を覆い、忍者になりきっての参加です。



(はじめに屋内で、素早い動きを養う修行や「見る」「聞く」「変身」など、忍者に必要な技を磨きました。ここでの大人スタッフは、午前中の体験を生かしあっという間に子どもたちと打ち解けていました。

基本の修行が終わると今度は、3つのグループに分かれて、屋外での実践修業にも挑戦しました。相手グループの隠した巻物を探す修業では、会場内を駆け回り、草むらの中や石の下など細かい箇所まで探していました。

最後は子ども対大人に分かれてのチャンバラ真剣勝負、付き添いのお父さんやお母さんにも助っ人を頼みましたが、結果は子どもたちの圧勝でした。

大人の立場にとらわれず、子どもたちの目線に立って同じ時間を共有することが、地域ぐるみの青少年育成の第一歩ではないかと考えます。青少年育成北杜市民会議では、これからも「大人が変われば子どもも変わる」を合言葉に活動に取り組んでまいります。

家族で門松をつくらう

山梨市青少年カウンセラー

佐藤 哲夫

健やかで豊かな個性と能力を持った人間に成長し、健康で逞しく、未来に向かって大きく羽ばたくことを期待して、様々な青少年育成事業を行なっていますが、その中の一つをご紹介します。

山梨市子どもクラブ育成指導者協議会が主催する育成活動「親子で門松をつくらう」を国登録文化財の山梨市根津記念館で実施しました。

主旨は、門松を手作りして新年を迎える準備をするという体験活動を通じて、伝統文化と日本の歳時記への理解を深め、文化を大切にすることを育てる。また、家族で協力して正月の象徴である門松を作り上げることによって、家族の役割を再確認してお互いを尊重する気持ちを育むということです。

毎年大好評で、市内在住

の小中学生の家族合わせて30組80名余りの親子や祖父母孫

が参加して、造園家の山田氏の指導でミニチュアながら本格的な門松作りに挑戦しました。

準備された丸い缶に座(ござ)を巻きその上に縄を巻きつけ、3本に束ねた青竹をたて、松と梅の小枝、紅白と金銀の水引きを組み合わせるとのミニ門松ですが、のこざりで竹の余ったところを切ったり、きれいに縄を巻き付ける作業等ちょっと大変な所もありましたが、どれも素晴らしいできばえの門松ができあがりました。

12月とは思えない暖かな日の中、ほほえましい親子での共同作業の光景を目にすることができました。



者の底力を信じて

みんなで
地域社会づくりを
考えていきましょう。

親子で文化財めぐり

笛吹市青少年育成コーディネーター

福嶋 浩一

笛吹市生涯学習課では、6月10日に体験活動教室「親子で文化財めぐり 石和のまちを歩こう」を市内の小中学生とその保護者を対象に行いました。初夏の心地よい日差しの中、親子で街中を散策する光景は、観光地である石和の町並みに良く似合っていました。

普段は身近すぎて気にも留めない小道が、実は歴史的に大きな役割を担っていた鎌倉街道であることを知ると、子どもだけではなく大人までも新鮮な発見に喜んでいました。また石和本陣跡や石和代官所跡などを訪れ、かつてはこの石和が山梨の中心地であったことに思いを馳せると、なんだか誇らしい気分になり、より郷土への想いが強くなったようです。

なかでも八田



石和のまちを歩こう

家書院は山梨県指定の文化財建造物で、江戸末期から伝わるひな飾りは有名です。時期がずれた為見ることはできなかった

のですが、代わりに庭園の菖蒲の花が見事に咲き乱れ、ひな飾りに負けない美しさにみんな目を奪われていました。最後は菖蒲の花に囲まれながら記念撮影をし、満面の笑みを浮かべていました。

さすがに低学年の子どもは疲れたようで、帰り道はゆっくり歩きましたが、忙しい現代では文化財をめぐる機会は、このような教室がないと難しいかと思います。

このように親と子どもが歩調を合わせ、ゆったり歩くことで時の流れを感じるのも、親子の歴史の1ページになるのではないのでしょうか。



平成24年度「少年の主張」山梨県大会最優秀賞

シエラレオネの仲間へ

みなさんは、シエラレオネという国を知っていますか？この国は、日本と、深い関わりのある国です。私は、この国のおかげで今まで気づかなかった大切なことに気づかされました。

私自身を変えるきっかけになったのは、あの東日本大震災でした。震災後のある日、新聞にシエラレオネという国が日本に約4万円の義援金を届けてくれたという記事が載っていました。この国は、西アフリカにある世界最貧国の1つです。人々の多くが1日1食を満身に食べることができず、また、平均寿命もとても短いと聞いています。そのような国の人々が、日本のために送ってくれた4万円はどれほど尊いものだったのでしょうか。日本に4万円の義援金を送るためにシエラレオネの人々が食べる物も食べずに援助してくれたその気持ちを思うと、私は涙が溢れてきました。更に、日本からの給食支援のための200万円を辞退し、それを被災者のために使ってほしいと申し出たそうです。この記事を読んで、私も、シエラレオネの人々のように本当に困っている人々の手助けをしたいと強く思いました。ちょうどその時、学校でラオス研修の募集がありました。私の学校ではもう20年以上も前からタイ・ラオスの子供達を支援しているのです。まず自分の目で世界の現状をしっかりと見ることが大切だと思い、私は学校代表としてラオス研修に行くことを決意しました。

ラオスは、東南アジアに位置し、面積はほぼ本州と同じ。小学校を卒業できる子供の割合は約6割、アジアの中ではとても貧しい国です。

私たちはラオス中部のポシター村でただ一つの小学校を訪問しました。教科書は2人に1冊、3人が窮屈そうに1つの机の前に座っているクラスもありました。そんな環境の中で、子供達は目を輝かせながら勉強に取り組んでいました。

私は、村の子供達と一緒に絵をかきました。その中の1人の女の子の絵に私ははっとしました。なんと、みんなが家や、村の様子を描いている中でその子だけが私の絵を描いてくれたのです。その気持ちが私は本当に嬉しかったです。「コープチ



山梨英和中学校 2年
三井 智恵

ヤイ]ラオス語でありがとうと言うと、その子は笑顔でうなずきました。そのすてきな笑顔を私は一生忘れられないでしょう。短期間でしたが、ラオスで現地の人々と共に過ごし、笑ったり遊んだりした体験は、私に目指すべき道を教えてくれました。自分にも世界の誰かのためにできることがあるかもしれないと思ったからです。

みなさんは、援助するというのはどのような事だと思えますか？私は今まで、援助するというのは恵まれた者が恵まれない人々を、一方的に助けるものだと思っていました。でも、世界の最貧国のシエラレオネの子供達が、先進国である日本の被災者のために貴重なお金を送ってくれたこと。また、言葉は通じなくても私のことを思いラオスの女の子が私の絵を描いてくれたこと。これらを通して、本当に大切なのは、貧しいとか豊かであるということではなく、相手を思いやる心であることが分かりました。

私の夢、それは、青年海外協力隊に入ることです。そう思わせてくれたのは、私の所属するマンドリン部の顧問の先生です。先生は今、青年海外協力隊員としてアフリカのマラウイに派遣され、そこで人々の生活をよくしていくための活動をしています。それを知り、私も、自分に出来ることをやりたいという思いがこみ上げて来ました。今の私には、具体的にどのようなことができるのかは分かりません。でも、援助を必要としている人たちの役に立ちたいのです。だからここで、私はある人たちにメッセージを送ろうと思います。

シエラレオネの仲間へ、私は10年後に必ず会いに行きます。みんなが日本のためにしてくれたことの恩返しをしたいから。だから、待っていてください。そして、あなた達に心からお礼が言いたい。「ありがとう」

地域を支える市町村民会議と町村の取組

昭和町民会議

【会長】 角野 幹男 氏
【設立】 昭和62年4月1日
【組織】 会員は昭和町町民
24の各種団体代表者163名
で総会を構成

【事務局】 昭和町押越532
昭和町教育委員会 生涯学習課

【目的】 青少年関係諸団体の
連絡提携を図り、昭和町青少年の
健全育成を図ることを目的とする。

【青少年への期待】 昭和町の未
来を担う青少年が、健やかに育つ
ことは町民すべての願いです。

豊かな感性と優れた創造性や社会性を備え、「うるおいと
躍動の都市昭和」の担い手として、誇りを持って生きる大人
へと成長してくれることを願っています。

【事業の概要】 ①昭和町広報誌「広報しょうわ」への活動
報告(年6回掲載) ②「家庭の日」「青少年を育む日」の取
り組み(ポスター、作文募集と優秀者収録冊子の全戸配布、
優秀者の表彰と朗読発表会の実施) ③「子ども110番の家」
の取り組み(341戸の登録) ④有害環境浄化活動 ⑤各
地区育成会の活動支援 ⑥昭和町子どもクラブ球技大会、
昭和町スポーツフェスティバルの支援 ⑦昭和町ふるさとふ
れあい祭りへの参加(子どもクラブ、高生連) ⑧青少年健全
育成啓発活動の展開(啓発横断幕の掲示他) ⑨道徳教育推
進事業の実施(小中学校4校で道徳公開授業と講演会を開催)
⑩夏季・冬季生活指導の推進(学校、駐在所からの方針と講
演会の実施) ⑪昭和町朝のラジオ体操の支援

【今後の目標】 「地域の子どもは地域で守り育てる」を合
い言葉に、家庭・学校・地域社会などあらゆる分野と連携を
進めながら、健全育成活動を盛り上げ、昭和町の未来を担う
青少年を育てていきたい。



角野 幹男 会長

丹波山村青少年育成活動

【目的】

丹波山村には児童・生徒・幼児等の健全育成を地域で推
進する「丹波山村育成会連絡協議会」があります。

各地区育成会代表で構成されております。育成会では、年
間を通じて各種事業を実施し友達や大人とのふれあいを大
事にするとともに地域に残る伝統行事への積極的な参加を
おこなっている。

【事業の内容】

具体的な育成会活動事例

1. 7月開催の祇園祭で開催されるささら獅子舞への参加
2. 正月1月7日のお松引きに参加

村主催の各種事業への積極的参加

1. 風の子交流サマーキャンプ(8月開催)

恵まれた自然の中で都市部との児童、生徒とのふれあいの
場としての交流

2. 風の子スキー教室(1月上旬)

スキー技術の習得を図るとともに、スポーツを通じて活き
活きとした心身を育むとともに集団生活を通して、心豊かな
たくましい少年少女の育成を図る

【今後の期待】

青少年の健全な育成活動を今後も継続するとともに、子
どもたちがふるさとを愛し次代を担う青少年の健全育成を
図っていく。

青少年育成山梨県民会議、市町村民会議等連携「合同会議」・ 山梨県青少年育成カウンセラー会第2回研究協議会

青少年を取り巻く現状をみると、薬物の乱用、虐待や自殺の
急増、非行の低年齢化、性にまつわる問題等青少年が直面す
る問題は深刻であり、青少年育成団体等の果たす役割は益々
大きくなって来ているところであります。

こうした中で、10月12日 関係団体等が一同に会し、青少
年を取り巻く諸課題について理解を深め、今後の青少年の健
全育成活動に資するため県民会議、市町村民会議の合同会
議を県青少年育成カウンセラー会と共に開催しました。

会議では、「スマートフォン時代における情報メディアの変化
と青少年のインターネット・リテラシー育成」と題して山梨大学の
准教授 成田 雅博 氏の講演、実践報告を北杜市青少
年育成カウンセラー 山本 仁 氏が行いました。



県民会議の活動概要

○広報啓発事業	・ 広報誌「やまなしの青少年」発行等（県下全戸回覧） ・ 「声かけ・あいさつ運動」啓発キャンペーン
○青少年活動促進事業	・ 少年の主張山梨県大会開催
○社会環境浄化と非行防止活動啓発事業	・ 白ポスト保守管理 ・ 携帯電話・インターネット使い方啓発リーフレットの配布 ・ 携帯電話の使い方講習会
○青少年育成・家庭教育推進事業	・ 「家庭の日」・「青少年を育む日」運動の啓発ポスター募集 ・ 入選作品を広く県民にお知らせする「カレンダー」の配布
○市町村民会議連携事業	・ 各市町村民会議と緊密に連携するための情報交換や研修会の開催
○青少年善行等特別表彰事業	・ 地域において健全育成や善行、奉仕活動等に積極的に取り組んでいる青少年、団体、指導者の表彰

ひとりで悩むの、もうやめよう

学校のこと、家のこと、友だちのこと……誰にも悩んであるよね。ひとりで考えていても解決できないことや、誰にも相談できないこともあるよね。そんな時は気軽に電話をかけてきてね。きっと、あなたの力になれるから。

名 称	電 話 番 号	開 設 時 間
中央児童相談所	055(254)8617	月～金 8:30～17:15
都留児童相談所	0554(45)7838	月～金 8:30～17:15
ヤングテレホンコーナー(甲府・吉田)	055(235)4444(甲府) 0555(22)4444(吉田)	月～金 8:30～17:00
総合教育センターいじめ・不登校ホットライン	055(263)3711	24時間いつでも対応します。
チャイルドライン※18才までの子供がかけられる電話	0120(99)7777(フリーダイヤル)	毎 日 16:00～21:00
山梨いのちの電話	055(221)4343	火～日 16:00～22:00
自殺予防いのちの電話	0120(738)556(フリーダイヤル)	毎月10日 午前8時～翌日8時

平成24年度 賛助会員の皆さん (敬称略・順不同)

賛助会員は、当県民会議の活動に賛同して篤志寄付をしていただく個人や企業、団体の皆さんです。

個人会員

天	野	一	甲	府	市
今	井	史	甲	府	市
上	捷	幸	笛	吹	市
大	智	二	甲	府	市
小	英	誠	甲	府	市
小	澤	彦	大	月	市
笠	保	勲	甲	府	市
金	井	男	大	月	市
久	森	男	甲	府	市
保	寺	千	甲	府	市
小	池	馬	南	アルプス	市
志	村	夫	甲	府	市
種	田	次	甲	府	市
辻	田	子	甲	府	市
鶴	村	美	大	月	市
苗	科	子	甲	府	市
仁	口	敬	甲	府	市
野	江	男	身	延	町
堀	月	正	富	士	河口湖町
望	口	夫	甲	府	市
山	田	彦	甲	府	市
山	尾	明	甲	府	市
若	明	正	山	梨	市
渡	辺	正	山	梨	市

企業会員

(有)池川薬局	甲	府	市	(株)中村建設	甲	斐	市
(有)荻野造園	甲	府	市	日東物産(株)	甲	府	市
(株)長田玉夫商会	甲	府	市	(株)はくばく	富	士	川町
(株)吉字屋本店	甲	府	市	(株)早野組	甲	府	市
(医)峡南会居宅介護支援事業所	富	士	川町	富士観光開発(株)	富	士	河口湖町
宏和建设(株)	甲	府	市	(学)富士修紅学院	富	士	河口湖町
(株)三愛印刷	甲	府	市	(株)藤二誠	甲	府	市
サントリー酒類(株)白州蒸溜所	北	杜	市	HOYA(株)長坂工場	北	杜	市
(株)サンニチ印刷	甲	府	市	(株)マルアイ	市	川	三郷町
清水工機(株)	南	アルプス	市	山梨トヨタ自動車(株)	甲	府	市
都留信用組合	富	士	吉田市	山梨ヤクルト販売(株)	甲	府	市
(株)テレビ山梨	甲	府	市				

編集後記

県教育委員会の調査で山梨県内の小・中・高校での、いじめが昨年(4月～9月)の半年で2,525件あったことが分かりました。この発表により件数の多さに唖然とした事と思います。いじめは双方の対応が必要ですが、解決には大人が子どもの声に耳を傾けるとともに、先生、子ども、家庭、地域の協力が不可欠です。青少年育成市町村民会議でも地域ごとに、いじめ問題に積極的に取り組もうではありませんか。私が推めている「県子どもグループワーク研究会」では自然体験活動のリーダー養成研修会や子どもキャンプの普及を行っています。青少年が生き生きと育つ環境を県民全体で作りに出していきたいと思います。 広報委員長 笠井 勲